

泊まれるアート。ホテル客室の壁がキャンバスに！
Artist in Hotel “アーティストルーム 鯉” が完成しました。
このお部屋を訪れるすべての人々に、ステキなことがありますように

パークホテル東京（汐留メディアタワー内）は、客室全体をアーティストが装飾する「Artist in Hotel」という取り組みを2012年12月よりスタートしております。2016年には31階フロアの客室すべてを改装するべくプロジェクトが進行中ですが、このほど14室目の「アーティストルーム 鯉」が完成いたしました。※注1

「Artist in Hotel」とは、いわばArtist in Residenceのホテル版。アーティスト自身がホテルに滞在し実際に施設やサービスを利用しながらその場の空気感を感じ取り、ホテルの客室を作品として制作すること。「日本の美意識」を大きなコンセプトに据え、壁画のように部屋の壁紙に直接絵を描いたり、原画やオブジェを壁に設置したりと、出来上がったお部屋は丸ごと、アーティストの世界観が伝わるお部屋となります。「相撲」や「禅」といった、日本にまつわるテーマで制作され、主に海外からのお客様に向けて販売、ご好評をいただいています。

14室目は「鯉」をモチーフに画家の内藤瑤子さんが2015年3月25日から制作をスタート、2015年4月17日に完成いたしました。※注2

「鯉の堂々とした泳ぎ姿に、向上、進歩、繁栄への願いが普遍的であることを感じた」という内藤さんは、古来より縁起の良い魚として尊ばれている「鯉」が泳ぐ姿を、油絵の具やアクリル絵の具、墨と和紙によるコラージュなど、様々な素材・手法を用いて生き生きと描きました。また、入り口と窓側は「海外からのお客様に『日本』を感じていただけるように」と、弁柄という神社や仏閣などにも用いられる日本の伝統色で塗りました。

壁画のメインとなるベッドの横には、鯉の背に乗り遊ぶ男の子。ゴツゴツとした岩を潜り抜けて行ったその先には、滝を昇ろうとしている鯉が描かれています。子供たちの、そして自分自身の成長を願う人々にとってのラッキーアイテムである「鯉」が、この部屋を訪れる方にとってもラッキーアイテムでありますように、というアーティストの願いが込められています。

「アーティストルーム 鯉」で、壁の作品とともにごゆっくりとお過ごしください。



アーティストルーム 鯉 内観

「アーティストルーム 鯉 Artist Room Carp」概要

宿泊開始：4月23日(木)より WEBサイト上（英語/日本語）、またはお電話にて販売中
部屋タイプ：アーティストルーム ダブル 広さ：22平米 ベッドサイズ：1,600×1,950
販売料金：1室2名利用 35,000円（税金・サービス料・宿泊税込）
ご予約・お問い合わせ：03-6252-1100

特設サイトURL <http://www.parkhoteltokyo.com/artcolours/aih.html>
【協力】羽黒洞 【総合プロデュース】creative unit moon (<http://www.moooon.jp>)



ベッド側からみた、内観。入口と窓側は弁柄でペイント。



ゴツゴツとした岩が、水面の中にも表現されている

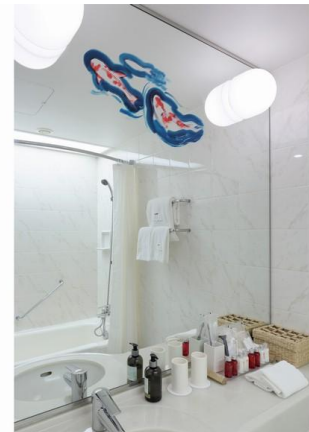
内藤瑶子（ないとう ようこ） - 1985年、神奈川県茅ヶ崎に生まれる。高校を中退し、独学で油画、日本画、ドローイング、木版画などの多様な技法での制作を始める。また、即興/非即興音楽家の秋山徹次など実験音楽家とのコラボレーションも行い、木版画と音/音楽のパッケージである「円波」の刊行や、パフォーマンスイベント「波の会」の企画などを手掛ける。内藤の作品に共通しているのは、人間の持つ大らかさや中性的な魅力、そして心身一如の思想への関心である。（株）羽黒洞 木村東介、ギャラリーT-BOXなど、東京のギャラリーを中心に個展を開催。グループ企画、国内外のアートフェアなど多数出展。

注1：出来上がりは14番目ですが、スタートしたのは15番目です。

注2：当ホテルに滞在したり、通ったりしながら制作いたしました。



ヘッドボード上部の滝を昇ろうとする鯉。



バスルームにも鯉が。



制作中の内藤さん

<本件に関するお問い合わせ>

パークホテル東京 マーケティング部 広報：早乙女、宮崎

Email : sotome@shibaparkhotel.com 〒105-7227 東京都港区東新橋 1-7-1 汐留メディアタワー

TEL:03-6252-1111(代) FAX : 03-6252-1001 PHS : 070-5368-7440